OPTiM Biz セキュリティホワイトペーパー

1.4 版

株式会社オプティム

1　利用者との責任分界点

株式会社オプティムの責任

株式会社オプティムは、以下のセキュリティ対策を実施します。

- OPTiM Biz アプリケーションのセキュリティ対策
- OPTiM Biz アプリケーションに保管されたお客様データの保護
- OPTiM Biz アプリケーションの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

お客様の責任

お客様は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- OPTiM Biz アカウントの適切な管理（登録、削除、組織管理者権限の付与など）
- 端末情報のバックアップの取得
- OPTiM Biz がインストールされた端末に関する情報の適切な管理

2　データ保管場所

- お客様からお預かりしたデータは、AWS・さくらの専用サーバ PHY・Microsoft Azure の日本にあるデータセンターに保管されます。
  ただし、管理コンソールからのメール通知に含まれる送信先メールアドレス、機器名、ユーザー名、端末の電話番号のデータは、Sendgrid の米国にあるサーバに保管されます。

データの削除

- OPTiM Biz 利用に関する契約終了後にお客様から削除依頼があった場合、お客様からお預かりしたデータは完全に消去されます。また、利用期間終了から 1 か月以上経過した場合は、当社の判断で削除する場合があります。
- ただし、上記のほかに保存されているバックアップデータ等の派生データについては、1 年間保有したのち順次削除します。
- また、サービス提供にかかわる装置の処分や再利用については、IaaS である AWS、さくらのクラウド、Microsoft Azure の方針に従って実施されます。

3　ラベル付け機能

- お客様は、ユーザーをお客様自ら追加した組織にグルーピングすることが可能です。

【操作手順書】

○　新規作成・編集：「6.1 一覧」◆画面
(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/ManagementSite_Reference.pdf)

- お客様は、ユーザーをお客様自ら追加したグループにグルーピングすることが可能です。

【操作手順書】
○　新規作成：「5.2.1 ［分類］タブ」 ◆画面
(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/ManagementSite_Reference.pdf)
○　ユーザー編集：「5.1.1 ［管理］タブ」 ◆画面（新規作成）
(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/ManagementSite_Reference.pdf)

4　利用者登録および削除

- お客様は、契約の範囲内において、いつでも自由にユーザーの登録・削除を行うことが可能です。

【操作手順書】
○　登録・削除：「5.1 一覧」◆画面
(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/ManagementSite_Reference.pdf)
○　一括登録：「5.3 CSV で追加」◆画面
(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/ManagementSite_Reference.pdf)

5　アクセス権の管理

- お客様は、登録したユーザーの権限を、自由に切り替えることが出来ます。管理者権限を付与することで、各種機能の管理画面にアクセスすることが可能です。

【操作手順書】
○　「5.1.1 ［管理］タブ」 ◆画面（新規作成）
(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/ManagementSite_Reference.pdf)

6　パスワードの配布方法

- 新規登録したユーザーに初期パスワードを配布する方法は、以下の手順です。また、同様の方法でパスワードの再設定も可能です。

【操作手順書】
○　「5.1.1 ［管理］タブ」◆画面（新規作成）/◆画面（編集）
○　「2.1.3 パスワードの新規発行/再発行」

(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/ManagementSite_Reference.pdf)

- ワンタイムパスワードを利用した 2 段階認証を有効にすることも可能です。

【操作手順書】
○ 2.1.3 2 段階認証で管理サイトにログインする
(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/StartUpManual.pdf)

- また、管理者側でポリシーによりパスワードの有効期限を設定した場合、ユーザーは期限切れパスワードの更新を以下手順で行うことが可能です。

【操作手順書】
○ 2.1.4 期限切れパスワードの更新
(https://biz3.optim.co.jp/dist/Manual/ja/ManagementSite_Reference.pdf)

7 暗号化の状況

全般

- データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、暗号化されずに、適切なアクセス権のもとで保管されます。但し、パスワードは、不可逆暗号化(ハッシュ化)された状態で、データベースに保管されます。
- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、TLS1.2 および 1.3 によって暗号化されます。

8 変更管理

- メンテナンス等であらかじめシステムを停止しなければならない作業を要する場合は、OPTiM Biz サポート担当から、あらかじめ 1 ヶ月以上前に、管理画面上もしくはサービス登録時に株式会社オプティムにご提供いただいたメールアドレスに対し、メールにてご連絡いたします。緊急の場合にはメールにてご連絡いたします。

9 手順書の提供

- お客様が利用できる手順書は、下記リンク先より閲覧することが可能です。
  - ○ マニュアル https://biz3.optim.co.jp/help/manual

10 バックアップの状況

全般

- データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、日次でバックアップを取得しています。バックアップは、1 年間保管されます。
- 但し、お客様によるバックアップデータの復元等に関する要望は、承っておりません。

11 ログのクロックに関する情報

- OPTiM Biz サービス内で提供されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で提供されます。
  ※ユーザー端末のタイムゾーンが異なる場合、ユーザー端末側のタイムゾーンで提供されます。
- ログの時間は、NICT もしくはホスティング会社が提供する NTP サービスと同期しています。

12 脆弱性管理に関する情報

- OPTiM Biz 開発チームは、システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。

13 開発におけるセキュリティ情報

- OPTiM Biz システムの開発では XSS や SQL インジェクションなど脆弱性の埋め込みを防ぐために、設計と検証の 2 点において以下の通りチェックリストやガイドラインによる確認を実施しています。
- 設計:設計事項考慮一覧に SQL インジェクションなどの埋め込みがないことの確認項目があります。
- 検証：検証設計で確認する影響範囲チェックリストにて脆弱性の埋め込みを試験する観点が整理されています。

14 インシデント発生時の対応

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント(データの消失、長時間のシステム停止等) が発生した場合は、インシデント発生してから 1 営業日以内を目標に、OPTiM Biz お知らせ機能による連絡を行います。
- また、パートナー経由でご契約いただいている場合には、パートナー向けサイトでの通知をもとに各パートナー企業担当営業より個別連絡が行われます。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の「OPTiM

Biz サポート担当」窓口より受け付けています。

15 お客様データの保護及び第三者提供について

- 株式会社オプティムは、お客様から預かったデータを適切に保護します。ログデータを含むお客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、OPTiM Biz 開発チームの一部の人間しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。
- ログデータについては、上記と同様の対応を実施の上、1 年間保管を行います。
- 但し、裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様のデータの提供を要請された場合、株式会社オプティムは、お客様の許可なく、必要最小限の範囲で、お客様情報を外部に提供する可能性があります。

16 適用法令

- お客様と株式会社オプティムとの間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。

17 認証

- 株式会社オプティムは、東京本社で行うシステム開発及び運用業務において、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISO/IEC27001 認証[1]を取得しています。
- 株式会社オプティムは、OPTiM Biz のシステム開発・保守・運用業務、及び OPTiM Biz の提供における Amazon Web Service、さくらのクラウド、Microsoft Azure のクラウドサービス利用者としての ISMS クラウドセキュリティマネジメントシステムにおいて、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISO/IEC27017 認証[2]を取得しています。

18 外部クラウドサービスの利用

- **OPTiM Biz** では、次に示す機能を運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

クラウドサービス	機能	運営会社	情報

[1] https://isms.jp/lst/ind/

[2] https://isms.jp/isms-cls/lst/ind/

アマゾン ウェブサービス（AWS）	サーバインフラ ホスティング DNS	Amazon.com, Inc.	ユーザー名、メールアドレス、パスワード、端末情報、アプリケーション情報、バックアップ
さくらのクラウド	サーバインフラ ホスティング	さくらインターネット株式会社	ユーザー名、アプリケーション情報
Microsoft Azure	サーバインフラホスティング	Microsoft Corporation	バックアップ
OPTiM ID+	SaaS 連携	株式会社オプティム	ユーザー名、メールアドレス、パスワード
Optimal Biz Telework	稼働管理	株式会社オプティム	端末情報、アプリケーション情報、キーボード・マウスの動作有無、位置情報
Optimal Remote	遠隔サポート	株式会社オプティム	端末情報、アプリケーション情報、画面表示情報
Optimal Biz Gadget	Android 用アプリ表示管理	株式会社オプティム	Android アプリ情報
Tiger	ネットワークマップ	株式会社オプティム	IP 情報、端末情報
Google Cloud	位置情報表示 (Google Maps API)	Google LLC	位置情報
Google Play	Android アプリケーション配信	Google LLC	アプリケーション情報
Android Enterprise ポータル	Android Enterprise 機能	Google LLC	Android Enterprise 機能
Apple Developer Enterprise Program (ADEP)	Apple DEP	Apple inc.	Apple ID

Apple Developer Program (ADP)	iOS, Mac アプリケーション配信 Apple 証明書発行	Apple inc.	Apple ID、iOS アプリ情報
Automated Device Enrollment (ADE)	ADE 認証 ABM/ASM	Apple inc.	端末情報、設定情報、iOS アプリ情報
App Store	アプリケーション配信	Apple inc.	Apple ID、iOS アプリ情報
InterSafe WebFilter	カテゴリフィルタリング	アルプスシステムインテグレーション	Web 閲覧情報
i-Filter ブラウザー&クラウド	Web フィルタリング	デジタルアーツ	Web 閲覧情報
moconavi	Optimal Biz Secure Sync	レコモット	端末情報、端末 ID
Trend Micro Mobile Security	ウイルス対策	トレンドマイクロ	スキャンデータ、IP アドレス、端末情報、製品情報
FastCloud	FAQ	テクマトリックス	なし
Sendgrid	メール通知	Twilio Inc.	送信先メールアドレス、機器名、ユーザー名、端末の電話番号
Sentry	エラー監視	Functional Software, Inc.	端末の種類、OS バージョン

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2023/10/24	初版発行
1.1	2024/10/31	OPTiM Biz 機能拡充などによる情報更新およびお問い合わせ先の変更
1.2	2025/03/07	OPTiM Biz 機能拡充などによる情報更新およびお問い合わせ先の変更
1.3	2025/07/31	OPTiM Biz 機能拡充などによる情報更新
1.4	2025/09/05	OPTiM Biz 機能拡充などによる情報更新

この資料に関するお問い合わせ

株式会社オプティム

OPTiM Biz サポート担当

https://www.optim.co.jp/optim-biz/contact/